

父母の会ニュース

神戸市重度心身障害児(者)父母の会

第196号

発行:平成31年1月25日

責任者: 武田 純子

TEL: 078-335-8508

FAX: 078-335-8509

E-mail: hubonokai6530

@iaa.itkeeper.ne.jp

新しい年におもいを寄せて

会長 武田 純子

平成最後の新年を迎えました。皇族方の新年祝賀のお出ましを今年は、例年になく厳かな気持ちで受け止めました。

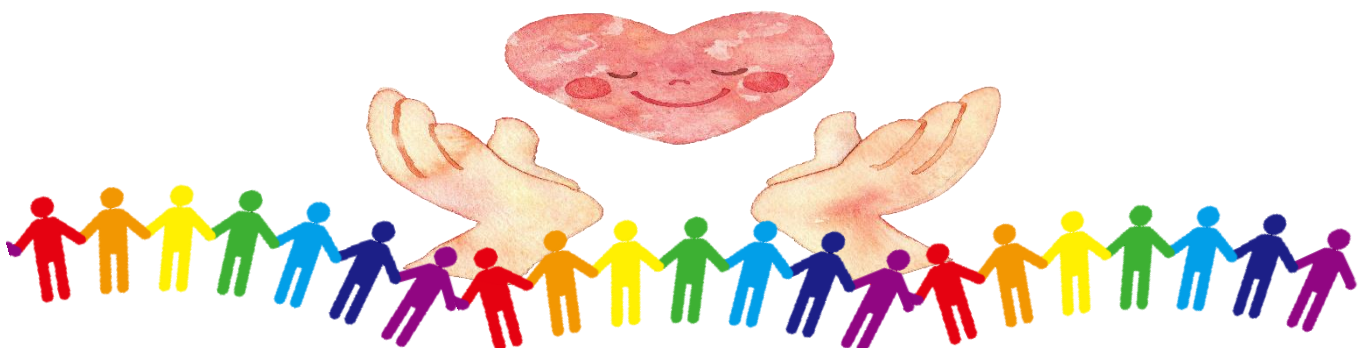
多事多難であった年を見送り、迎えましたこの年が平穏で希望に満ちた1年でありますよう祈らずにはおれません。

私事ですが、昭和の時代に生まれ、平成の時代に子育てを終え、やがて晩年を迎える時期を経て、次の元号のいずれかの年に終活になるんだなあ〜と考えるようになりました。

去る3年前に当会の50周年を終えました。その中で私が関わってきた期間には、法令が見直され、新しい制度が出来ましたが、確かにそれによって心身、経済的にも家族の負担は軽減されてはきました。しかし実際にそれが障害児(者)すべての人に行き届いているかと言えば、まだまだそれには及びません。地域を見ますと高齢者のケアマネ、高齢者施設等は数えきれないほどの数があります。今そのケアマネに該当する障害者のケアマネの役割を地域の障害者地域生活支援センターが担っております。又、各区に「地域自立支援協議会」も定期的に開催され寝食を忘れて地域を駆けずり回っていただいております。本当に必要な所に必要なサービスを届けるには「ヒト・モノ・カネ・情報」ですが、50年前には、時代から思うと『ひと』『物』『情報』も乏しい時代であり障害児(者)の住みづらさ、育てづらさはあったのは確かでしたが、その分特別支援学校(養護学校時代)では親子で登校があり親同士の情報があり、その分、お母さんたちの結束は固かったように思えます。どんどん人も物も情報も進化する時代になりつつありますが、どんな時代になっても「ひとの温もり」は大事にしていきたいと切に願います。

5月の新元号のスタートと共に、新しい時代に取り残されないように柔軟な感性を養っていかねばと今から気持ちのトレーニングを努力していきます。

皆さまにとりましてこの新しい年が記念すべき年になります様祈りつつ……



ふれあいバス旅行

平成30年10月21日(日)、じゅうしん父母の会の2年に一度の『ふれあいバス旅行』に参加しました。総勢35人、そのうち車椅子利用者が7人という構成です。リフト付き観光バス1台が先ず東灘で、次に湊川神社前で集合していた参加者を乗せ出発しました。素晴らしい晴天で、10月後半なのに窓ガラス越しの日差しが暑いほどです。

淡路サービスエリアに到着、時間に余裕を持たせたトイレ休憩を取りました。車いすで移動する人がいるので、まずバスの高さを低くしてからリフトで降ります。時間がかかる為、支えて何とか歩ける人は降りてから車いすに移るといった工夫もありました。

再び出発後も渋滞もなく、予定通りに鳴門の大塚国際美術館に着きました。広大な美術館で、集合写真撮影後は決められた時間まで各自で観ましたが、広く作品も多いので一度ではどうも全部は観られませんでした。昼食は鳴門ならではの鯛会席が美味しく、観潮船では運よく迫力ある鳴門海峡の渦潮を見ることができました。

本当に楽しいバス旅行でした。添乗員、運転手、ガイドのみなさんから温かい心遣いを受けました。事業担当の方、旅行会社にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。

バス旅行を振り返って

須磨支部 山内 由香

朝早くからの集合でしたが参加ありがとうございました。急に涼しくなってきたので体調を崩されていないかなあと心配していました。

皆さん楽しんでいただけましたか。

当日湊川神社付近にはヤサカ観光のバスがずらりと並んでいたの、バスが止められるかなと心配しました。日曜日ということでたくさんの人でした。

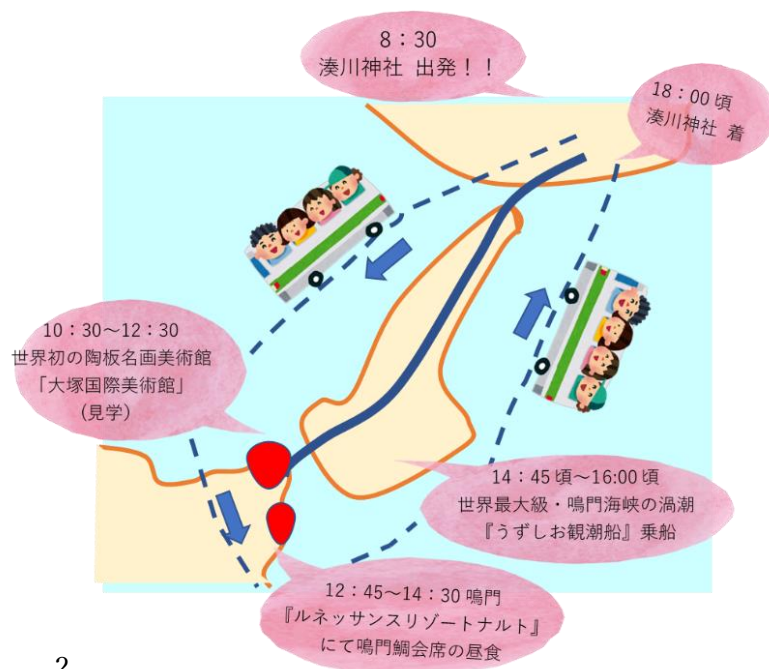
日頃絵に興味のない私たち親子でしたが、ゆっくり鑑賞することができました。

昼食の鯛会席、美味しかったですね。品数が多くて食べきれなかったです。

うず潮観潮、大潮の時間と重なって大迫力でしたね。

今回時本さんのピンチヒッターで至らない点があったと思います。

また行事等でお会いすることがあると思いますので、声をかけてください。



|にこにこハウス医療福祉センター見学

11月29日(木)この日も好天に恵まれた中、現地集合した役員以下11人がなかなか行くことのないにこにこハウス医療福祉センターを見学してきました。

以前見学した時より建物が遥かに大きくなり、たくさんの要望に応える為のスペースができていました。重症心身障害児者の入所棟も特に入浴設備が新しくなり、状態により体を濡らすことができない人にはミスト浴の機械があったり、ベッドからの移動も大変な障害者のベッドの横での支援学校の先生方の授業など、それぞれのよりよい環境作りの工夫があちこちに見られます。

他に生活介護「スマイル」、短期入所「フロア・はびねす」、児童発達支援・放課後等デイサービス「やまぼうし」など建物の内部も明るく優しい色で統一されていて、外来で訪れる小さなお子さんや家族がなるべく緊張しないですむ気遣いを感じます。

一通り見た後河崎施設長が加わって下さり、質問タイムとなりました。

父母の会ニュースでお知らせした『災害避難スペース』では、11月に6組の障害者家族が参加協力して災害研修会も開催され、いざという時何が必要になるか、停電などを想定して訓練が行われました。この研修だけで準備が大変だったようですが、今後もできるだけ続けていきたいと思いつつ見学を終了しました。

その後参加者全員で昼食をとり、感想を交換する交流をしました。



—災害研修会—

東灘支部 若野 俊子

昨年11月6日(火)7日(水)の二日間。にこにこハウス医療福祉センターで、災害時の重度障害者対応研修会が開かれました。6組の親子が医師看護師支援職らと共に、災害避難スペースで一晩過ごしたそうです。実際にやってみたのがすごい!!

その日のNHKニュースでの「課題を一つ一つ乗り越え、障害のある人が安心して避難できる場所を作りたい」との河崎施設長の言葉も嬉しかったです。一つずつ、少しずつ、でも確実に前進してると思え励まされました。

北支部

12/14 Xmas 親子食事会



西支部



5/10 イチゴ狩り
10/12 須磨海浜水族園

垂水支部



たるみっこまつり

須磨支部



キリンビール工場

12/2
キリンビール工場 & めんたいパーク



めんたいパーク

長田支部

11/9
六甲山オルゴールミュージアム & 港めぐり



六甲オルゴールミュージアム
(サイトより引用)



11/23 障害者スポーツ交流会 in 福地



東灘支部



12/2 もちつき大会

支部の 行事



灘支部



12/9 xmas会

兵庫支部



12/2 xmas会 いくせいと合同

中央支部



毎月1回いこいの家で訓練会

11/11 訓練

西区障害者支援センターオープン!

障害者が地域で安心して暮らし続けることができるよう、相談機能や緊急時の受け入れ体制を確保し、関係機関との調整によって連携体制を構築するコーディネート機能を有する障害者支援センターを、神戸市内で初めて西区に設置しました。

1. 開所式日時

平成 30 年 12 月 3 日（月曜）14 時 30 分 開所式 15 時から 16 時 30 分まで 内覧会

2. 開所式場所

神戸市西区春日台 5 丁目 174-10（旧 西在宅福祉センター）

3. 障害者支援センターの役割

障害者支援センターは障害者等の地域での生活を支援するとともに、関係機関や様々な社会資源とのネットワークを構築し、災害時等の緊急時にも対応できるよう、障害者等を地域で見守る体制づくりを行ないます。

主な役割は、下記のとおりとなります。

- (1) 相談支援機能（障害者地域生活センター）
- (2) 短期入所事業を活用した緊急時受け入れ体制の確保
- (3) 通所サービス等日中活動の場の提供
- (4) 見守り支援体制の整備

開所式に吉田西支部長が出席されました

4. 運営法人

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会

5. その他

西区障害者支援センターには、平野西神あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）やえがおの窓口（居宅介護支援事業所）、認知症対応型通所介護施設も併設されており、高齢者・障害者の分野を問わず、安心してご相談いただくことができます。

資料提供（平成 30 年 11 月 22 日）

保健福祉局
障害福祉部障害者支援課



写真は、神戸市社会福祉協議会

ホームページより引用

こんにちは じゅうしん須磨寺です ～写真で見る2018年～

1～3月



2月: 節分

2月:
クッキング

2月: イオンモール

3月: お抹茶会

4～6月



4月: 出発式コンサート(萌友)

5・6月: ボウリング

6月: ジブリ大博覧会

新年あけましておめでとうございます！

小池弘三理事長・佐々木信一施設長の新体制で、初めての新年を迎えました。

春には、久々に新しい利用者を迎える予定です。

今年も引き続き、みなさまのご支援・ご協力をお願いします。

7～9月



8月: 運動会

9月: ハグ+展

9月: グリーンリーフ高倉音楽交流会

10～12月



11月: 旅行(フルーツフラワーパーク)

12月: クリスマス会

◇「じゅうしん神戸」「じゅうしん須磨寺」を支えてください◇

◎会員として支える（正会員5,000円・賛助会員2,000円）◎ボランティアとして支える など

郵便振替口座：00990-7-254520 加入者名：特定非営利活動法人じゅうしん神戸

◆◆◆お知らせ◆◆◆

- ・じゅうしん父母の会のホームページができました。(2月から)
アドレス(URL)は kobe-jyushin.com と半角英数字で入力します。
パソコン、タブレット、スマホで見ることができます。



- ・チャリティーバザーの準備は昨年から趣意書の送付、ポスターの掲示(みんなの掲示板)、後援依頼、兵庫区役所地下道ギャラリー展示、寄贈品の呼びかけなど確実に進めています。新年に入り、商品回収、分別、値付けの時期になってきました。皆様のご協力を改めてよろしく願いいたします。
- ・次年度の総会は5月24日(金)に、初夏のバザーは6月21日(金)に予定しています。

◆◆◆会員の動き◆◆◆



訃 報

謹んで哀悼の意を表します

【お願い】 書き損じの官製はがきを「じゅうしん父母の会」へ提供してください。



インフルエンザ予防しましょう！

インフルエンザ流行の勢いが増しているようで身近に感染した話もよく聞くようになりました。

重度心身障害児(者)にとって、まず家族がうがい、手洗い、休養、咳エチケット(マスク着用)をしてかからないよう予防することが一番大事です。この冬を全員元気で乗り切りましょう。

広報部員のつぶやき2

我が広報部は私を含めて3人で広報誌を製作しております。

長年広報誌を一人で取り仕切っておられて何でも頼れるSさん、昨年より私と広報部に入ってホームページ制作の中心人物かつ心身障害児(者)の為に日々走り回って活動されてるYさん、そして得意なものはないが口だけは達者な私であります(笑)

皆、家事と日々の子供の関わる活動をこなしながら少ない時間をやり繰りして広報部会を開いています。時には前日全く寝てない状態で参加することも多々あります。

それでも私たちが続けるのは皆さんに楽しくより良い情報を届けて、少しでも日々の生活の助けになったらいいなという想いからです。

それと広報部会であーでもないこーでもないと色々な話をするのがストレス発散になっているのも事実であります(笑)

何事も声に出すことって大事だなと思う今日この頃。

一人で悶々と抱え込まず声を上げて想いを届けましょう。小さな発信がいずれは大きな力となることと思います。

芳司